

# 意志あるところに道は開ける

子育て支援で  
社会を変えたい

女性も男性も、  
仕事を、  
人生を楽しもう！



なかむら・のりこ

テレビ朝日アナウンサーを経て1985年、日本初の女性管理職のネットワークであるJAFE (Japan Association for Female Executives) を設立。JAFEセミナーでは、政財界トップとの意見交換を行う。1987年働く女性を「育児と介護サービス」で支援する株式会社ボビンズを起業、現在に至る。ハーバードビジネススクールオブジャパン「ビジネス・ステイツ・ウーマン・オブ・ザ・イヤー」受賞、社団法人ニュービジネス協議会「アントレプレナー大賞優秀賞」受賞。Forbes ASIA's Power Business Women 2014 に選ばれる。2016年第一回日本サービス大賞厚生労働大臣賞受賞。

ポピンズ 代表取締役 CEO  
JAFE (日本女性エグゼクティブ協会) 代表

中村 紀子 氏

聞き手：本誌主幹 大中吉一

——日本人の女性経営者は何名  
参加されましたか。

——日本人の女性経営者は何名  
ミクスを超えて”です。

中村：GSWは世界の政財界トップが集う「ズイス・ダボス会議の女性版」とも言われています。年1回開催され、今回27回目。日本人も参加しております。そこで、日本でこの大会を誇致したいということになりました。実行委員長に指名されたというわけです。我が国での開催は初めてですので、私と一緒にやつて下さるメンバーを一人ずつ選びました。そして、オール・ジャパンで政財界のトップレベルを揃えないと、この大会は絶対できないと思いました。ちなみに、今回のテーマは「ウーマン

東京大会に込めた3つの目的——このたびは、GSW2017の実行委員長として、東京での開催の大役を果たされましたが、これはどのような会ですか。

017東京大会の実行委員長を務め、大成功に導いた中村紀子氏（ボビンズ代表取締役CEO・日本女性エグゼクティブ協会代表）に、その統括と未来への夢を聞いた。

GSW（世界女性サミット）2017東京大会の実行委員長を務め、大成功に導いた中村紀子氏（ボビンズ代表取締役CEO・日本女性エグゼクティブ協会代表）に、その統括と未来への夢を聞いた。



GSW2017東京大会には60カ国以上から約1300人もの女性経営者が参加、過去最大を記録した

中村：今回の参加者は1400名、その内日本人は300名ですが、特にユースとして、女子大生200名も招待しました。これから世界で日本の女性が大いに活躍して頂くためには、若い女性の意識改革が必要だと考えたからです。招待された彼女達はとても喜んでいましたよ。

——将来の中村さんですね。

中村：いえいえ、私はたまたま福州の風が吹いて、幸運に恵まれてここまで来ただけです。この大会を引き受けるに当たって3つの目的がありました。

第一は、安倍総理の女性活躍推進の起爆剤にすること。そのためには、世界の本物のエグゼクティブを招待することが必要です。

第二は、女性の経済外交をスターさせたいと思っています。日本が目指す「GDP600兆円」に向って、何をすべきかに關しては、男性経営者ばかりにフォーカスされているようですが、実は、女性は経済外交がとても得意です。

ポビンズもこの2年間で世界各国から質の高い保育所を望まれて、 UAE（アラブ首長国連邦）のアブダビやドバイ、韓国を始め、多くのア

プローチが来ています。

そしてそのために、世耕経済担当大臣や経団連の榎原会長にもお越しい願い、日本でビジネスをするにはどうしたらいか、いろいろとお話を聞いて頂きました。

第三は、ユース、後輩達の育成です。全国から選んだ200名の女子大生を無料で招待して、この大会が終了後も、引き続きJAFE（日本女性エグゼクティブ協会）のメンバーが、彼女達を育成するというスケームになっています。

「これでもか」と勉強すべき

—— それはすごいですね。ところで「JAFE」について少しご説明頂けますか。

中村：JAFEは1985年創設ですが、新たな一步となる発会式を2013年に、安倍総理始め政財界のトップのご来臨を頂き開催しました。さまざまな分野で働く女性達がお互いに情報交換し、自己啓発を行なうことにより、ビジネスと生活の向上を図ることを目的としてい

ます。

—— JAFEの発会式には安倍総理を始め、ノーベル賞の山中伸



という程勉強をしていましたね。あの姿は、女性が絶対に学ばなければいけないと強く思いますね。このような政財界のトップの方々は、政策を決定する権限を持っています。そして、女性の活躍についても一番理解がなかつたのが、政治家と経営者だったんですね。

そこで今回、その人達と300名

のJAFEのメンバーとを会わせるこ  
とによって、理解を深めてほしいと  
思つたのです。

—— それで、理解は深まりま  
したか。

中村：ええ、とても理解が深まつた  
と思います。後は継続して世界に  
羽ばたいていくつもらうだけですね。

しかし、残念ながら、今でも女性  
は3つのパターンしかない、と考えて  
いる経営者が世の中には少なくない  
ように感じます。「妻」「秘書」「夜  
のクラブのママ」ですね（笑）。

—— そんなことはないですよ、

華道家の家元や日本舞踊など、文  
化・芸術の世界では大勢活躍して  
います。ただ、今迄はそれだけで  
終わっていましたが、これがさま  
ざまな企業とコラボをして、日本  
の美しい空間を創造して行けば素  
が。

中村：現在、女性の管理職や執行  
役員は物凄い勢いで増えていますが、  
世界から見ればまだまだだと思います。  
—— しかし、日本にもやがて女  
性の首相が必ず現れますよ。世界  
では「鉄の女」と言われた英國の  
サツチャーさん、今はメイさんで  
す。ドイツのメルケルさんもいま  
す。



迎賓館ではウェルカムディナーの鏡割りも

博先生、の黒田東彦日銀総裁、塩  
崎厚生労働大臣など、「時の人」  
を多数お呼びになつていますが、  
これは正しく中村さんのお力です  
ね。

中村：そんなことはありません  
(笑)。大中さんは30年も前に石  
おられた時代でした。

そして、あの会で経済界のトップ  
の人達の話を聞くと、「これでもか」

山四郎さんの経営者像の会でお会い  
したのですが、あの頃は日本の産  
業界に本田宗一郎氏、松下幸之助  
氏というトップスター達が活躍して

中村：そんなことはありません

博先生、の黒田東彦日銀総裁、塩  
崎厚生労働大臣など、「時の人」  
を多数お呼びになつていますが、  
これは正しく中村さんのお力です  
ね。

中村：そんなことはありません  
(笑)。大中さんは30年も前に石  
おられた時代でした。

そして、あの会で経済界のトップ  
の人達の話を聞くと、「これでもか」

山四郎さんの経営者像の会でお会い  
したのですが、あの頃は日本の産  
業界に本田宗一郎氏、松下幸之助  
氏というトップスター達が活躍して

「『保育』という部分をもっと広めて行きたいと考えています」

中村・日本では東京都知事の小池百合子さんでしょうか。逆にお尋ねしますが、どう思われますか。

— いずれにしても、まずは社会貢献をし、民意を汲み、政治経験をもっと積んでいきながら、それでいて、母らしく、女らしく、おらしくなった時には、必ず首相の座につかれるのではないでしょか。

中村・そんな可愛らしくて首相が務まるでしようか（笑）

— 大丈夫です。男性もまだ強いだけではダメですよ。自論ですが、男は優しくなければダメ、気配りができないダメ、そして、プレゼントができないダメで

す。この3つが揃うことによって、になると思いますよ。

中村・近年、素晴らしいと思う経営者や、政治家が少ないようになりますね。

ゆとり世代が育っていない

— 素晴らしい経営者は私の目の前におられますよ。ここまでよくやって来られたと、本当に感服しています。さて、今後、さらなるポピングの成長と未来に向けての抱負をお聞かせ頂けますか。

中村・ポピングは働く女性のために、最高水準の育児と介護サービスで支援をして行きます。そして、日本のサービス産業の一つである、「保育」と言う部分を、アジアへ、そして世界へもっと広めて行きたいと考えています。

日本の政府は、介護は自分達の行く末ですから、生産性の向上などいろいろと気を遣っていますし、サービス産業の中にも含まれていますが、保育は規制改革でもスポンと抜けているんですね。

家事支援も本格的に参入しまし

た。テレビでも放映されましたが、今もフィリピンから研修に来ています。

— 人手不足の現状、これは市場の開放にもとてもいいことですね。

中村・私はこの20年間世界を見て周り、「ポピングは世界で勝てる」と感じています。今年度185カ所の保育所になりますが、毎年30カ所のペースで保育所を開設しており、多分日本で一番だと思います。

— 少しお金をかけ過ぎではありますか。

中村・いいえ、以前は社会福祉法人だけでしたが、現在は株式会社にしましたので、これは政府の認可保育所になります。ですから、自分で全額投資ではありません。厚生労働省も応援してくれています。でもり、5歳の子供向けの投資を、今の5倍位にしないといけません。と言うのは、20歳代のゆとり教育時代の人達が、本当の意味で育つてないんですね。これは本当に由々しき問題だと思います。

— そんな人が親になってどうしますか。

教育)は絶対に必要です。真剣に向き合う人を理解する力が子供にはあるんですね。1日にどれくらいの時間、親は子供と向き合っているでしょうか。それが本当の愛情であり教育なんですね。

— 最後にひと言お願いします。中村・ポピングは今年30周年を迎えた。業界初を生み出す発想力で、最高水準のサービスをこれからも作り続けてまいります。

— 期待しております。中村・有難うございます。ご期待に添うよう頑張ります。



お祝いに掛けつけた小池都知事と